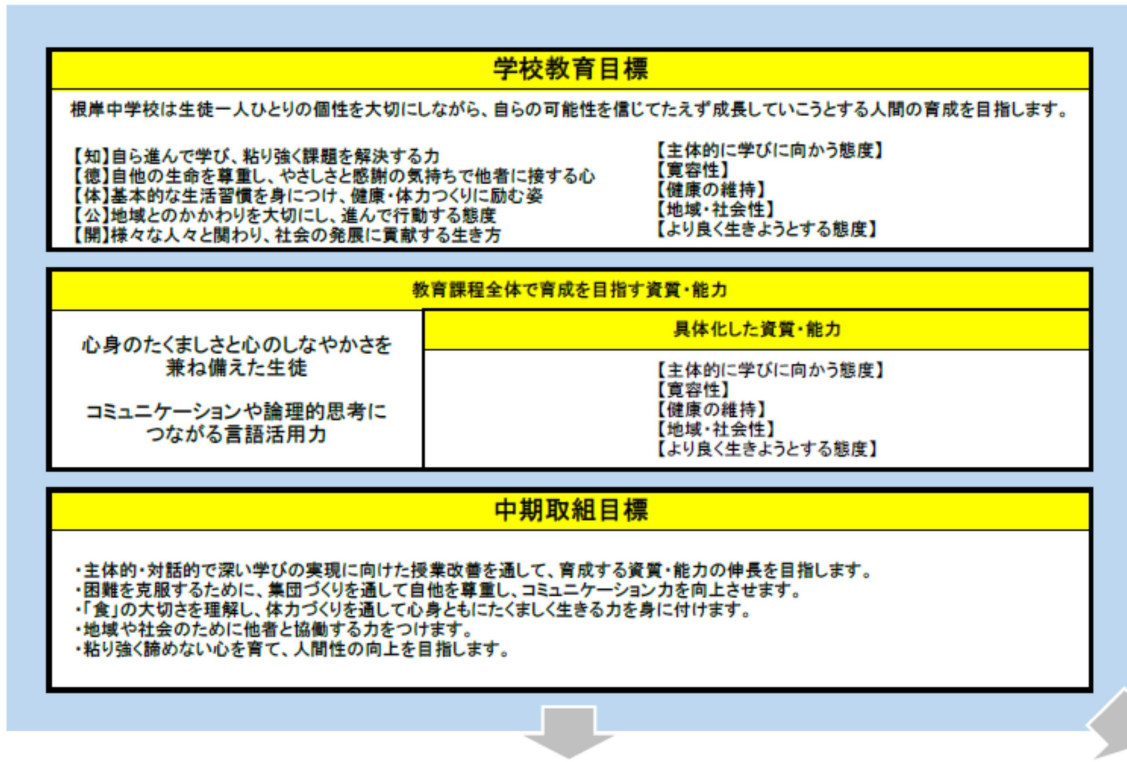


中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」



豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心の育成	①道徳の授業での、ローテーション授業の実施、教科横断的な道徳の授業の実践をさらに進めていく。(学習・道徳) ②生徒会活動や学級活動、班活動等を通じて様々な問題解決をしていく中で、他者の考え方を尊重する心やコミュニケーション能力を伸ばせるように支援する。(特活指導部)
担当	特活指導部
	③学校行事を通じて粘り強く課題に取り組み、集団の力で課題を解決していく姿勢を養い、他者の努力を尊重する心を育てる。(体育祭・文化祭)

豊かな心に関わる本校の状況
明るく素直な生徒が多く、基本的な生活習慣が身につけている。 比較的落ち着いた学校生活を送り、学校行事や部活動にも積極的に関わろうとする生徒が多い。 しかし、ほぼ1小1中の関係にあり、幅広い人間関係が構築されず、大きな変化を受け入れにくく、また変化を作り出そうとする意欲も低い。全体的に依存心が強く、粘り強さや忍耐力、自ら考え行動する力を高める必要がある。 コロナ禍で過ごす学校生活も三年目に入り、「できない」ではなく、その中で「何ができるか」を模索し、困難な状況においても、折れないたおやかな心を持ち続けられるたくましい精神力を学級活動、学校行事や道徳の授業を通して育成していく必要がある。

今年度の目標	
自他の生命を尊重し、やさしさと感謝の気持ちで他者に接する心を育てる(学校教育目標) 人とのかかわりを大切にし、集団の中で成長し、高めあう力を身につける。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	○道徳科の授業では、主体的・対話的で深い学びとなるために、考え、議論する授業の実践を進める。 ○全学年での班活動を中心とした学級づくりを行い、お互いを認め合い、高めあう集団づくりをめざす。 ・YPプログラムの実施 ・学級活動や生徒会活動などの主体的な活動の実践 ○体育祭や文化祭において、生徒自らが考え、進めていく中で、他者理解を深め、温かな集団作りを目指していく。 ○年間を通して、リーダーの育成と自己肯定感を高める活動を全教育活動で推進していく。
下半期	○各学年でローテーション道徳を実施し、様々な教材や考え方に触れ、対話的な学びを通して、様々な視点から物事を理解し、考えていく。 ○YPを効果的に活用し、コミュニケーション活動や主体的な生徒会活動、学級活動を活性化させる。